

年 報

平成 14 年度

栗東歴史民俗博物館

もくじ

1. 運営基本方針、重点目標	3
2. 施設の概要	4
(1) 沿革	4
(2) 施設の概要	5
(3) 平成14年度に行ったメンテナンスの記録と課題	8
3. 企画展等開催事業	9
(1) 展示	9
() 常設展示	10
() 企画展およびその他の展覧会	11
企画展示	11
その他の展覧会	12
(2) 教育普及活動	12
() 展示(常設・企画展示共)に関わるもの	12
展覧会に伴う講演会等	12
旧中島家住宅での体験教室等	13
() 学校との連携	13
小学校3・4年生対象 博物館教室「昔のくらし」	13
総合的な学習	13
勤労体験学習	13
博物館実習	13
() 情報の発信	14
刊行物	14
ホームページによる広報活動	14
ポスター・チラシ等による広報活動	14
4. 資料の収集と保管、活用	15
(1) 資料の収集	15
購入資料	15
受贈資料	15
受託資料	16
複製資料	16
修復資料	16
受贈図書(交換先のリスト)	18
(2) 資料の保管	20
() 収蔵環境管理	20
() 生物被害対策	21
(3) 資料の活用	21
資料貸出	21
特別利用	22
(4) 調査研究	23
・資料調査事業(里内文庫)	23
5. 組織と管理運営	24
(1) 組織	24
(2) 職員	24
(3) 職員の活動	24
(4) 博物館協議会	27
(5) 決算	28
(6) 入館者数	29

1. 運営基本方針および重点目標（平成14年度）

平成14年度 栗東歴史民俗博物館運営基本方針

1. 基本方針

栗東歴史民俗博物館は、地域の優れた歴史的文化遺産を住民の共通遺産として受け継ぎ、次の世代へと伝えていくため、地域にかかわる博物館資料の収集・保存に努め、博物館資料の情報を広く住民に提示することを目的としています。地域文化を物語る資料の掘り起こしを進め、住民一人ひとりの自主的な生涯学習活動を支援し、住民に活用される、開かれた博物館づくりを基本に、歴史を身近に感じられるまちづくりの推進に寄与してまいります。

2. 重点目標「魅力ある展示づくりを目指して」

栗東歴史民俗博物館では、第1展示室の常設展示「栗東の歴史と民俗」、復元移築した旧中島家住宅、第2展示室を中心とした企画展やテーマ展の開催をとおして、地域の歴史と文化の解明に努めています。

常設展示の充実化を図るため常設展のテーマを出発点とした企画展「近江の鋳物師」、小地域の歴史と文化を探求するテーマ展「下戸山の歴史と文化」をはじめ、財団法人栗東市文化体育振興事業団との共催展などをとおして、より魅力ある展示会の開催を目指してまいります。

併せて、展示会と関連した講演会や博物館教室の開催、広く住民の生涯学習に資するための教育・普及活動の推進、小・中学校や各種団体との連携をとおして、博物館の利用促進に努めてまいります。

2. 施設の概要

(1) 沿革

昭和56年9月	栗東町総合計画基本計画に歴史民俗資料館の建設が設定	
昭和57年11月・59年11月	(財)栗東町文化体育振興事業団より早期建設及び建設促進についての要望書が出され、請願書として採択される	
昭和60年3月	自然休養公園構想が策定され、文化教養施設ゾーンに資料館建設が位置づけられる	
昭和60年7月	(財)栗東町文化体育振興事業団に「(仮称)栗東町歴史民俗資料館及び図書館建設構想」策定の委託を行う	
昭和61年1月	(財)栗東町文化体育振興事業団より提出された「(仮称)栗東町歴史民俗資料館及び図書館建設構想」報告書を町議会に報告	
昭和61年4月	社会教育課に歴史民俗資料館開設準備係を設置	
昭和61年10月	栗東町歴史民俗資料館建設準備委員委嘱 委員9名	
昭和62年4月	歴史民俗資料館準備室設置	
昭和62年9月	展示基本設計業務をトータルメディア開発研究所に委託	～63年3月
昭和62年10月	建築設計・監理業務を富家建築事務所に委託	～平成元年3月
昭和63年5月	展示実施設計業務をトータルメディア開発研究所に委託	～平成元年3月
昭和63年5月	用地造成工事始まる	
昭和63年7月	(仮称)栗東歴史民俗博物館新築工事着工	
平成元年3月	(仮称)栗東歴史民俗博物館新築工事竣工	
平成元年7月	展示工事着工 トータルメディア開発研究所	～2年8月
平成2年9月22日	開館記念式典	
平成2年9月23日	開館記念講演会「奈良時代の仏教文化 - 渡来と土着 - 」 梅原 猛氏 開館記念展「栗東の宗教文化」開催	
平成6年5月	旧中島家住宅一般公開	
平成6年8月	博物館法に基づく博物館登録	
平成6年9月	町制40周年記念展「近江と馬の文化」開催	
平成7年10月	開館5周年記念展「金勝寺 - 良弁説話と二十五別院 - 」開催	
平成9年2月	文化財保護法の規定に基づく公開承認施設として承認される	
平成12年10月	開館十周年記念展「鈎の陣とその時代」開催	
平成13年10月	市制施行記念展「近江の街道」開催	
平成13年10月	市制施行記念展パネル展「栗東市の誕生」開催	
平成14年3月	公式ホームページ開設	
平成14年11月	文化財保護法の規定に基づく公開承認施設として再承認される	

(2) 施設の概要

【本館】

建築工事の概要

設計・監理	富家建築事務所		
設計期間	昭和 62 年 10 月～昭和 63 年 5 月		
施 工	建築・機械	村本・笹川組共同企業体	
	電気	近畿電気工事(株)	
敷地面積	7,410.95 m ²		
構 造	鉄筋コンクリ - ト造		
	基礎	P H C 杭、回転ミルク埋め込み工法	
	規模	地上 2 階建、塔屋 1 階	
	軒高	9.3m 主なスパン / 12m × 7m	
	最高高	14.3m 階高 / 6.3m (展示室)	
	天井高	展示室 4.5m・収蔵庫 3m	
	建築面積	2,040.96 m ²	
	延床面積	2,935.00 m ²	1 階 1,900.55 m ² 2 階 987.91 m ²
面積配分	導 入	176.85 m ²	(6.0%)
	展 示	710.52 m ²	(24.2%)
	教育普及	258.41 m ²	(8.8%)
	収 蔵	873.66 m ²	(29.8%)
	調査研究	228.75 m ²	(7.8%)
	管理・他	686.81 m ²	(23.4%)
	合 計	2,935.00 m ²	(100.0%)
建ぺい率	29.4%	容積率	42.3%
指定地域地区	第一種住専、住居、市街化調整区域		
工 期	昭和 63 年 7 月～平成元年 3 月		

展示工事概要

設計・施工	ト - タルメディア開発研究所
基本設計	昭和 62 年 9 月～昭和 63 年 3 月
実施設計	昭和 63 年 5 月～平成元年 3 月
工期及委託	平成元年 7 月～平成 2 年 8 月

設 備 概 要

空 調	各系統空調機より単一ダクトと、V A V 方式 + ファンコイル方式 特別収蔵庫・収蔵庫 1、収蔵庫 2、収蔵庫 3、第 1 展示室・第 2 展示室、研修室、 学芸室の各系統毎に空調機設置		
	熱源	空気熱源ヒ - トポンプチラ - 冷温水同時取出型 50 R T X 2 基 冷温水切替型 50 R T X 1 基	
給排水衛生	給水	栗東市水道直圧方式	
	給湯	電気温水器、電気湯沸器	
	排水	汚水、雑排水合流を市下水道へ放流	

電 気	受電 6KV 375KVA 配電 電灯 単相 75KVA 100/200V 動力 3相300KVA 200V
照 明	展示室・研修室/調光器を装備し高演色性、紫外線防止用電球色 蛍光灯を使用、第1展示室では一部白熱灯併用、第2展示室・研修室では展示構成の変化にたいしてライティングダクト使用による白熱灯併用を可能としている。 展示ロビー・収蔵庫/紫外線防止用電球色蛍光灯 その他/一般照明
防 災	消化/屋内消火栓、消火器 ハロンガス消化設備/各展示室、各収蔵庫 感知/自動火災報知設備 排煙/自然排煙 防犯/機械警備
中央監視盤設備	設備機器の運転及び監視
昇 降 機	荷物用油圧エレベーター1台 2,000kg 30M/MIN

主な内部仕上

収 蔵 庫	床/鋼製根太組・コンパネ+ブナフローリング 壁・天井/ギャラリールーフト(特収・収1) 繊維混入ケイ酸カルシウム板(収2・収3)
-------	---

館内平面図・面積表



導入部門	風除室	23.1	収蔵部門	収蔵庫3	127.69	管理部門 ・その他	控室	6.08
	ロビー・ラウンジ	153.75		収蔵庫前室1	45.21		洋式便所	5
展示部門	第1展示室	383.61	収蔵庫前室2	11.01	来館者用便所	29.65	掃除用具入	2.2
	第2展示室	180.61	学芸室	114.27	職員用便所1	7.97	職員用便所2	2.16
	展示ロビー	91.53	調査室	28.32	倉庫1	29.92	倉庫2	5.87
教育普及部門	展示資材室	54.77	資料室	11.96	機械室・電気室	129.42	ハロンポンプ室	13.24
	研修室	191.8	シャワー室	32.22	消火ポンプ室	10.28	EV	28.48
収蔵部門	資材倉庫	66.61	写場	1.25	EV機械室	27.72	廊下	189.09
	搬入口	39.45	暗室	8.93	階段	43.72	ダクトスペース	8.19
	荷解室	70.9	管理事務室	44.08				
	一時保管庫	24.5	館調湿	11.84				
	修理工作室	60.43	会議室	57.13				
	燻蒸室	29.74	受付	10.12				
	特別収蔵庫	134.61	湯沸室	4.67				
	収蔵庫1	97.11	更衣室	11.72				
収蔵庫2	233.01	印刷室	8.62					

【旧中島家住宅（移築民家）】

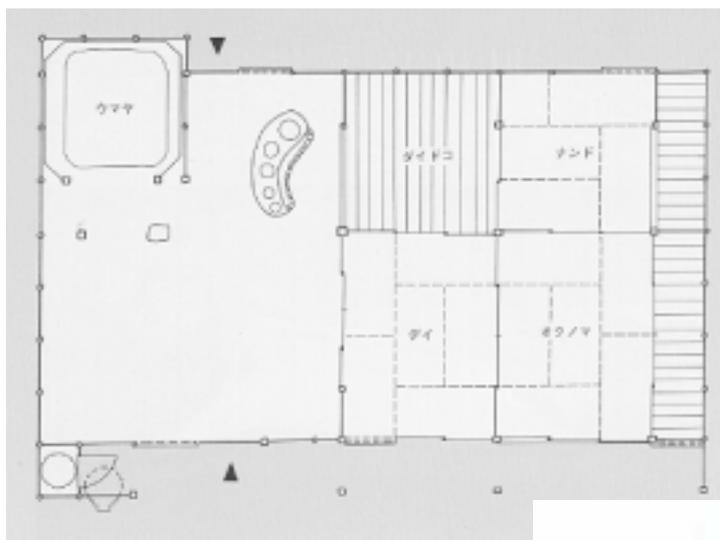
建築工事の概要

設計・監理 吉田社寺並一般建築事務所
設計期間 平成5年5月14日～平成6年2月28日
施 工 建 築 (株)北中建設
施行期間 平成5年10月15日～平成6年3月25日
施行期間 平成6年 1月31日～平成6年3月20日
建物構造 木造平屋建て民家

桁行 12.665m 梁間 7.95m (一部8.68m)
本建：入母屋造り茅葺き (桁行8.96m・梁間4.95m)
四面庇付棧瓦葺
建築面積 102.58㎡ 延床面積 91.81㎡

概 要

当建物は、幕末から明治初年（推定）に、現栗太郡栗東町大字霊仙寺に創建された農家住宅で、昭和61年2月に解体され、平成5年度に解体材と新補材により博物館敷地内に移築復原した。当民家は創建以来、幾度もの改造及び修理を経ているが調査および史料により創建当初の型式に復元した。なお、建物の維持管理上、附帯工事として給水・排水および電気工事を施工した。平成6年3月25日竣工し、同5月1日より一般公開。



(3) 平成14年度に行ったメンテナンスと課題

博物館施設、設備の良好な維持管理を図ることにより、展示・収蔵している博物館資料を保存し、後世に伝えていく博物館の基本的な役割を果たすための業務を実施した。館設備へのメンテナンスや博物館資料にたいするくん蒸を行うことにより、収蔵品や展示物を適切な環境下におき、安全に保管していくことができた。

平成元年3月に竣工して以来14年が経過し、建物および機械設備等にかかる消耗度合いが年々進んできており、今後とも適切なメンテナンスとオーバーホール等が必要である。屋上防水層の劣化にともなう漏水にたいし、応急処置を施したが、躯体にみられる構造クラックへの対応が必要となっている。

- ・屋上漏水応急工事
- ・空調機フィルター取替
- ・空調機維持にかかる補修
- ・博物館施設、設備維持にかかる委託業務
 - 清掃委託くん蒸業務（収蔵庫くん蒸1回、くん蒸庫くん蒸2回）
 - 旧中島家住宅管理委託
 - 空調機保守点検
 - 植栽管理委託
 - 蒸気発生器保守点検
 - エレベーター保守点検
 - 映像放送機器点検
 - 空気環境測定保守点検
 - 消防設備保守点検
 - 自動ドア保守点検
 - 電気工作物設備保安管理
 - 中央監視盤保守点検
 - 空調機制御機器保守点検
 - 警備委託
 - 重量シャッター保守点検

3. 企画展等開催事業

地域の歴史と文化を明らかとするため、地域にかかわる展覧会の開催、図録の刊行、展覧会に伴う歴史フォーラムや展示解説会、体験教室を実施した。さらに研究成果を紀要にまとめ刊行した。

年間をとおして数多い展覧会を開催しており、地域文化の掘り起こし、再評価に大きな役割を果たしているが、展覧会の周知方法についてはさらに工夫が必要となっている。

(1) 展示

当館の展示活動は、常設的な通史展示「栗東の歴史と民俗」と、会期を限って行う企画展示に分けられ、おもに第一展示室で通史展示を、第二展示室で企画展示を行った。

企画展示は、通史展示ではどうしても網羅的な取り上げ方にならざるを得ない中で、地域とかがわりの深い様々なテーマを順に掘り下げ、地域に密着した緻密な調査活動の地域への還元や、地域の特色を滋賀県、近畿、日本といったより大きな視点の中に位置づけてゆくことをもくろむもので、館全体の資料収集活動や調査研究活動と連動している。本年度についても、通史展示の項目「辻の鋳物師」を出発点とした企画展「近江の鋳物師 辻村鋳物師の活躍」や、栗東の古墳時代の中からテーマをすくいあげた企画展「古墳時代の装飾品 玉の美」ほぼ旧大字を単位として地域資料の掘り起こしをはかる小地域展シリーズとして開催したテーマ展「下戸山の歴史と文化」等の展覧会を行い、それに伴う歴史フォーラムや展示解説等を開催したことなどにより、地域の優れた歴史と文化を見直し、埋もれていた資料の掘り起こしを進めることができた。

展示室の面積には限りがあるため、限られた展示面積の中で多項目にわたる地域史を紹介する、第二展示室における企画展示のテーマと関連する項目を補足する、企画展示の性格によって広い展示面積が必要となる場合に企画展示の展示スペースとして活用するなどの理由により、コーナー編成を含めて展示スペースの柔軟な組み換えを行った。また展示資料の中に現物資料の割合が高いため、資料保存の観点から随時展示品の入れ替えを行った。

このような展示スペースの組み換えや展示替の過程で、企画展示の成果を随時通史展示に反映させ、内容の更新を図った。

・平成14年度における展示スペースの配分

(ゴシック体で記したものは企画展示)

第一展示室	壁面ケース1	縄文の人々と暮らし・稲作のはじまり			近江の鋳物師	縄文の人々と暮らし・稲作のはじまり		
	壁面ケース2	栗東の古墳				栗東の古墳		
		古代の豪族と官衙遺跡				古代の豪族と官衙遺跡		
	シマ1	花開く宗教文化		近江の彫刻		花開く宗教文化		栗東の古墳
		栗東の古墳				栗東の古墳		
	壁面ケース2	鉤の陣と中世				鉤の陣と中世		
		街道の生活		中山道と栗太		街道の生活		
	仮設ケース1	木内石亭				栗東の真宗文化		
	仮設ケース2	辻の鋳物師		辻の鋳物師				
	民俗コーナー	栗東の木綿織り				辻の鋳物師		栗東の山の神
栗東の祭りとの神			辻の鋳物師					
シマ3	土臼づくり			水口祭りとツクリゾメ				
スポット展示	第二展示室	収蔵品展	西川吉輔	マイ・ミュージアム	近江の彫刻	下戸山の歴史と文化	栗東の山の神	
							すこし昔の暮らしと人々	古墳時代の装飾品

() 常設展示

「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)

栗東の歴史と文化を、考古、歴史、民俗、美術工芸の各分野から通史的にたどる。前年度の企画展「近江の街道」や「古墳の木製祭具」等をの成果を反映して関連コーナーの充実化がはかられた。また本年度の企画展「近江の鋳物師」開催にかかる調査研究で、辻の鋳物師にかかわる大幅な資料の充実と研究成果の蓄積がなり、年度後半には特にその成果を大きくとりあげて公開した。

() 内はコーナー内での展示替回数。

縄文の人々と暮らし(1): 栗東の代表的な縄文時代遺跡である霊仙寺遺跡から、縄文土器片、石製品などを展示

稲作のはじまり(1): 霊仙寺遺跡の遠賀川式土器や、木製臼、炭化米など、稲作や稲作の開始に伴う文化や道具を陳列

栗東の古墳(4): 新開1号墳の鉄製武具馬具、新開4号墳の船形埴輪、狐塚3号墳の木製祭具などの古墳出土品と、岩畑遺跡や辻遺跡などの集落遺跡やそこにみる鉄製品や玉の加工等にかかわる資料を展示

古代の豪族と官衙遺跡(1): 栗太郡衙と推定される岡遺跡と、それをささえた豪族小槻氏に関わる資料を、出土遺品、推定模型、続日本紀や木簡(複製品)などから紹介

花開く宗教文化(2): 栗東市南部の山中に奈良時代に開かれた金勝寺を中心とする文化圏の仏像や、街道沿いの大宝神社周辺に残る資料を紹介

鉤の陣と中世(6): 長享元年(1487)に、近江守護六角高頼を討伐するため室町幕府9代将軍足利義尚が出陣し現在の栗東市内に陣を置いた鉤の陣を中心に、その背景や影響を含めて紹介

街道の生活(3): 市内を通る東海道、中山道沿いの暮らしや文化を和中散を中心とする製薬に焦点をあて紹介

木内石亭: 木内石亭(1724~1808)は江戸時代の弄石家。収集した奇石を分類して展示公開し、その成果を『雲根志』などにまとめるなどの活動の一端を紹介

栗東の真宗文化(3): 本願寺中興の祖、蓮如の活動を支えた力のひとつとなっていた野洲、栗太両郡の坊主・門徒衆の活躍と、伝来する名号、方便法身尊像などを紹介

辻の鋳物師(5): 現在の栗東市辻を本貫地とし、全国に出職した近世最大級の鋳物師集団であった辻の鋳物師について、彼らの様子を伝える文書や、つかわれた道具類から紹介

栗東の木綿織り: かつて各家でも行われていた綿づくりから製糸、機織にいたる工程を、そこで使われた道具や製品から紹介

土臼づくり: 土臼は米の収穫後の籾摺りに使われた道具。かつて栗東市出庭を中心に活動した土臼職人たちの技術を、土臼と写真パネルで解説

栗東の祭り(3): 栗東地域で行われてきた祭りの中から、山とのかかわりのふかい地域で行われてきた山の神や、稲作と関わるツクリゾメ、水口祭りなどに焦点をあて紹介

() 企画展示およびその他の展覧会

企画展示

収蔵品展 仏教美術を中心に (第2展示室)

平成14年3月30日～5月6日 会期中の入館者 1,087名
館蔵・受託資料の中から仏教美術に焦点をあて、当地に花開いた多彩な仏教文化を反映する天台、真宗、黄檗などにかかわる資料を紹介した。

特別陳列「西川吉輔 地域の明治維新」(第2展示室)

平成14年5月12日～6月23日 会期中の入館者 920名
西川吉輔(1816～1880)は、幕末・維新期の近江を代表する国学者で、館蔵里内文庫や当館寄託の資料などから、吉輔が地域に基盤を据えて教化活動を展開した様子が知れる。また辻(現栗東市辻)の鋳物師の家に生まれた田中知邦は、吉輔を補佐し、厚い信頼のもと多くの著作や建言書を著した。大宝神社(現栗東市縷)神主の足助楓崖(武雄)も、幕末に吉輔とともに国事に奔走したと伝え、明治にはいると、私立学校本立義塾を開き、教育者として地域の発展に寄与した。地域に密着して活躍した吉輔と、交流のあった人々にスポットを当てて紹介した。

第1回マイ・ミュージアム展(第2展示室)

平成14年6月29日～7月21日 会期中の入館者 471名
市民の収集によるコレクションや、思い出の品、大切な家宝などを出品していただく場として開催してきたマイ・コレクション展が第10回目を迎えたのを機に、コレクションだけでなく、創作活動の成果を発表する場としても活用していただくべく名を改め再出発した展示。思い出の品、コレクション、創作品などを、そこに込められた出品者の思いとともに紹介。また地域で活躍される方々の活動を広く知っていただく場としても活用していきたいと考え、今回は、栗東市荒張の走井を拠点とし、漢詩や山水画をよくした竹村栗軒(1889～1983)にスポットを当てて紹介した。

テーマ展「平和のいしずえ2002」(第2展示室)

平成14年7月27日～9月1日 会期中の入館者 1,093名
近代以降の戦争と平和について例年行っているシリーズ展示。本年は集団疎開に焦点をあてた。太平洋戦争末期の昭和19年5月から、終戦をはさんで10月まで、治田村目川(現在の栗東市目川)にある専光寺には大阪市立逢坂国民学校初等科1～3年までの子どもたちが集団疎開し、近くの治田国民学校(現在の治田小学校)に通学した。171日に及ぶ疎開生活と、子どもたちを取り巻く状況を紹介。

第一展示室コーナー展示「中山道と栗太」

平成13年9月10日～10月14日 会期中の入館者 1,270名
中山道の宿駅整備400年を機とした近江中山道400年記念事業の一環として、通史展示小項目「街道の生活」を強化する形でコーナー展示を行った。

テーマ展「近江の彫刻 湖南・甲賀の10・11世紀」(第1展示室の一部と第2展示室)

平成14年9月14日～10月14日 会期中の入館者 1,171名
近江は古来より南都の影響を受けてきたが、平安時代のはじめに最澄が比叡山を天台の中心地となしてから、その膝下としての性格をも帯びるようになった。平安時代の半ば以降、天台の勢力は近江全域に拡大し、その過程の中で湖南平野や金勝山塊、甲賀などの地域にも、確実に天台の影響が及んだ。重層的な様相を見せる湖南から甲賀地域の10世紀から11世紀の彫像に焦点を当てて紹介。

企画展「近江の鋳物師 辻村鋳物師の活躍」(第1第2展示室)

平成14年10月20日～11月24日 会期中の入館者 776名
辻(現 栗東市辻)の鋳物師は、江戸時代の日本を代表する鋳物師であった。江戸時代における辻村鋳物師の活躍のあとを丹念にたどり、さらに江戸後期、地元にも多くの作品を残した太田西兵衛、幕末期の太田猪三郎、昭和の太田弁蔵までにいたる歴史を紹介。

テーマ展「下戸山の歴史と文化」(第2展示室)

平成14年11月30日～12月23日 会期中の入館者 1,169名
旧大字を単位とした小さい地域に焦点を絞り、地域の資料を掘り起こし、郷土の歴史と文化を再発見するシリーズ展示。下戸山の現在の景観の成り立ちを中心に、むらの変遷をたどる。

テーマ展「すこし昔の暮らしと人々」(第2展示室)

平成15年1月5日～3月2日 会期中の入館者 3,650名
小学校3・4年生配当の授業「くらしのうつりかわり」に対応した企画。今の小学生のおじいさんやおばあさんが子どもころ、お父さんお母さんが子どもころに、日常生活の中で使っていた道具から、すこし昔の暮らしを紹介。

企画展「古墳時代の装飾品 玉の美」(財団法人栗東市文化体育振興事業団との共催)(第2展示室)

平成15年3月8日～5月11日 会期中の入館者 1,732名
古墳時代を中心とした各地の玉作遺跡や、トンボ玉、金属製勾玉など、全国的にも数の少ない貴重な玉を中心に紹介し、玉をめぐる当時の社会のしくみや製作技術について検証。

その他の展覧会

第34回滋賀県児童・生徒版画展(滋賀県美術教育研究会と共催)(研修室)

平成15年2月26日～3月2日 会期中の入館者 1,360名

(2) 教育普及活動

() 展示(常設・企画展示共)に関わるもの

展覧会に伴う講演会等

9/23	テーマ展「近江の彫刻」展示解説会	参加者 38名
	講師：当館学芸員 松岡久美子	
10/6	テーマ展関連講座「仏像に親しむ - 仏像の見方と展示解説 - 」	参加者 37名
	講師：当館学芸員 松岡久美子	
11/9	企画展「近江の鋳物師 辻村鋳物師の活躍」展示解説会	参加者 21名
	講師：当館館長 佐々木進 同資料調査員 山本順也	
11/17	企画展「近江の鋳物師 辻村鋳物師の活躍」 歴史フォーラム「辻村鋳物師」	参加者 74名
	講師：横田冬彦 京都橘女子大学教授	
	講師：井上 優 滋賀県教育委員会事務局	
	講師：山本順也 当館資料調査員	
	司会進行：佐々木進 当館館長	

- 11 / 17 中山道街道ウォーク 守山宿から草津宿 参加者 108 名
 12 / 7 テーマ展「下戸山の歴史と文化」展示解説会 参加者 96 名
 講師：当館学芸員 大西稔子
 3 / 15 企画展「古墳時代の装飾品 玉の美」(財団法人栗東市文化体育振興事業団との共催)
 歴史フォーラム「古代の装飾品からみた大陸文化」 参加者 61 名
 講師：小池 寛 京都府埋蔵文化財調査研究センター
 講師：安永周平 岡山県古代吉備文化財センター
 講師：近藤 広 栗東市文化体育振興事業団
 司会進行：花田勝広 野洲町立歴史民俗資料館

旧中島家住宅での体験教室等

- ・ 3 / 15 「むかしの家でのおはなし会」(栗東市立図書館と共催) 参加者 約 60 名
- ・ 3 / 21 「わらぞうりをつくろう」旧中島家住宅 参加者 9 名

() 学校との連携

学校教育との連携では、小学生 3・4 年生対象の博物館教室「昔の暮らし」がカリキュラムの改訂に伴い一時的な減少をみたが、総合的な学習の開始に伴う利用があった。学校教育との連携では、総合的な学習への対応を確立することが急務となっている。

小学校 3・4 年生対象 博物館教室「昔の暮らし」

- ・ 1 / 17 滋賀県立聾話学校 14 名
 - ・ 1 / 17 栗東市立葉山東小学校 3 年生 67 名
 - ・ 1 / 21 甲西町立三雲小学校 3 年生 49 名
 - ・ 1 / 23 甲西町立下田小学校 3 年生 57 名
 - ・ 1 / 30 草津市立志津小学校 3 年生 125 名
 - ・ 2 / 21 栗東市立金勝小学校 4 年生 66 名
- 計 6 校 378 名 (うち児童 354 名、教師および保護者 24 名)

総合的な学習

- ・ 6 / 5 ~ 2 / 12 栗東市立葉山中学校 1 年「環境と歴史」 計 12 回
- ・ 6 / 5 甲西町立菩提寺北小学校 6 年「良弁と菩提寺」
- ・ 7 / 2 栗東市立治田東小学校 6 年「安養寺山の歴史」
- ・ 7 / 3 守山市立守山中学校 1 年
- ・ 10 / 18 栗東市立葉山中学校 2 年 科学クラブ
- ・ 10 / 22 大津市立比叡平小学校 3 年

勤労体験学習

- ・ 7 / 8 ~ 7 / 10 栗東市立葉山中学校 2 年
- ・ 10 / 23 栗東市立栗東西中学校 1 年 職業調べ学習
 - ・ 11 / 13 ~ 11 / 15 栗東市立栗東中学校 3 年 チャレンジワーク

博物館実習

- ・ 8 / 30 ~ 9 / 2 同志社大・大谷大・龍谷大・京都光華女子大・京都女子大・仏教大・滋賀県立大 計 7 校 13 名

()情報の発信

従来からの博物館だよりに加えて、ホームページの開設により広報手段が広がり、インターネット利用層にたいして一定の効果をみた。

今後さらに地域住民へ博物館事業への周知徹底を図り、展覧会への再来性を高めていくため、幅広い年齢層に対して広報手段の確保が必須である。

刊行物

- 特別陳列「西川吉輔 - 地域の明治維新 - 」パンフレット (平成 14 年 5 月)
- テーマ展「平和のいしずえ 2002」パンフレット (平成 14 年 7 月)
- テーマ展「近江の彫刻 - 湖南・甲賀の 10・11 世紀 - 」ポスター・図録 (平成 14 年 9 月)
- 企画展「近江の鋳物師 - 辻村鋳物師の活躍 - 」ポスター・図録 (平成 14 年 10 月)
- テーマ展「下戸山の歴史と文化」パンフレット (平成 14 年 11 月)
- 企画展「古墳時代の装飾品 - 玉の美 - 」ポスター、チラシ、図録 (平成 15 年 3 月)
- 栗東歴史民俗博物館だより VOL.22 (平成 14 年 10 月)
- 栗東歴史民俗博物館だより VOL.23 (平成 15 年 3 月)
- 栗東歴史民俗博物館紀要 第 9 号 (平成 15 年 3 月)
- 年報 平成 12・13 年度 (平成 15 年 3 月)

ホームページによる広報活動

平成 14 年 3 月 31 日に開設。平成 14 年度における更新回数は 30 回、総アクセス数は 5,338 回であった。館の催し物の周知や、交通手段の連絡に一定の役割をみたほか、刊行物の売り上げについても、来館者以外からの注文や遠隔地からの注文が増加する成果があった。

しかしインターネットの普及には年齢層に偏りがあり、当館の来館者の中でも大きな割合を占める中高年層への普及率は必ずしも高くない現状をふまえ、インターネット非利用者への広報手段の確保と工夫が、今後も引き続いて必要である。

主な内容 (平成 14 年度末現在)

- ・運営基本方針 当館の運営基本方針と重点目標を掲示
- ・利用案内 交通手段、入館料、休館日、バリアフリーへの対応等の紹介
- ・催し物案内 当年度の企画展示予定、各展覧会の詳細情報のほか、過去に開催した催し物についても案内
- ・刊行物案内 当館刊行物の案内と購入方法のお知らせ
- ・館の紹介 館の沿革、館内平面図等
- ・関連条例・規則

ポスター・チラシ等による広報活動

- ・ポスター駅貼り
テーマ展「近江の彫刻」、企画展「近江の鋳物師」、企画展「古墳時代の装飾品 玉の美」の 3 企画について、JR、京阪各沿線に委託掲示
- ・市内配布、掲示依頼
市内各公民館等諸施設、銀行等近隣協力企業、栗東駅等

4 . 資料の収集と保管、活用

(1) 資料の収集

購入資料

・『称名念仏奇特現證集』上下合本 1冊

栗太郡川辺出身になる天台僧隆堯の編録したものであり、内容的にも隆堯の略伝のほか、隆堯にまつわる説話、東方山安養寺の宝蔵房良舜にまつわる説話などが収録される。正徳2年刊行。

・『大新板伊勢道中図絵』 1紙

・『新板伊勢参宮巡双六』 1紙

いずれも京都から伊勢神宮にいたる伊勢参宮に題材をとる双六。東海道沿いの草津・石部間に、前者は名物菜飯と田楽を売る店先を描く「目川」(目川立場、現栗東市岡、目川)を、後者は和中散を商う「ぜさい」の店先を描く「むめのき村」(梅木立場、現栗東市六地藏)をしるす。

受贈資料

名称	数量	受贈年月	寄贈者
琵琶湖蒸気船大津丸図	1件	H14.4	個人 草津市
大工道具		H14.4	個人 栗東市上砥山
フゴ		"	個人 "
エトエト人形		H14.4	個人
ベル	1点	H14.4	個人 草津市
罫紙版木	4点	"	個人 "
整理箱	1点	"	個人 "
印判	4点	"	個人 "
教科書類	一括	"	個人 "
立葵紋軒丸瓦		H14.5	個人 守山市
オゼン		H14.6	個人 草津市
オカモチ		"	個人 "
鍛冶屋関係資料	一括	H14.6	個人 栗東市六地藏
鋤	1点	H14.6	個人 栗東市安養寺
鋤の柄	1点	"	個人 "
焼夷弾	1点	"	個人 "
算額稽古大全	1冊	H14.6	個人 栗東市荒張
平面立体求積問題答式	1冊	"	個人 "
コーピンケズリ	1点	H14.7	個人 栗東市辻
少年赤十字章ほか	61点	H14.7	個人 草津市
書籍	29点	"	個人 "
サムハラ護符	3点	H14.7	個人 栗東市中沢
近江地誌略上巻	1点	H14.7	個人 "
群書類従ほか	37点	H14.8	個人 草津市
投網	4点	H14.8	個人 栗東市伊勢落
チャツボ	1点	H14.7	個人 "
ショウユカメ	1点	"	個人 "
酒壺	4点	"	個人 "
木製コマ(代用品)など	9点	H14.9	個人 八日市
割引勸業券	1枚	H14.9	個人 草津市
陶製地雷	3点	H14.10	個人 栗東市緒
メンコ	408点	H14.10	個人 栗東市伊勢落
坩堝	1口	H14.11	個人 栗東市辻
手原醤油株式会社登録商標	4点	"	個人 草津市
軍事郵便絵はがき	4点	"	個人 "

洗濯板	1点	"	個人	栗東市安養寺
一升徳利	1点	"	個人	栗東市縹
二升徳利	1点	"	個人	"
自転車用ランプ(国産)	1点	"	個人	"
自転車用ランプ(英国産)	1点	"	個人	"
自転車用ランプ(電池式)	1点	"	個人	"
スッポントビ	4足	"	個人	栗東市北中小路
北川スポークベル	1点	H14.12	個人	栗東市縹
自転車	1台	"	個人	"
ジョタン	1点	"	個人	栗東市下戸山
版木など	9点	"	個人	"
口ウソクタテ	1対	H15.1	個人	栗東市荒張
チョウシ	1対	"	個人	"
灰トリ	1点	"	個人	"
軍事郵便葉書 ほか	3点	"	個人	草津市
レコード	228枚	"	個人	栗東市小野
ヒヤクトウ	1基	H15.2	個人	栗東市宅屋
衣類	一括	"	個人	栗東市御園
袷・ブンコ・チョウチン	一式	"	個人	"
近江国栗太郡治田村字小柿絵図	1舗	"	個人	栗東市目川
仏光寺御門跡霊宝略讃	1冊	"	個人	"
石臼	1点	"	個人	"
糸巻	2点	H15.3	個人	栗東市小柿
戦争関係資料	一括	"	個人	栗東市御園
瓶子ほか	21件	"	個人	栗東市辻

受託資料

名称	数量	受託年月	寄贈者	
木造神像	4 軀	H14.5	椿神社	近江八幡市
逋信省発行郵便絵はがき	3 点	H14.7	個人	草津市
陣中新聞 南十字星ほか	3 点	"	個人	"
絵馬	一括	H14.7	善勝寺	栗東市上砥山
仏涅槃図	一幅	"	"	"
鉄造置燈籠	一基	H14.8	大鳥神社	甲賀町
西照寺絵図	一幅	"	個人	栗東市井上
アルバム	7 枚	"	個人	草津市
『実用 自動車の調整と修理』ほか	20 点	H14.9	個人	"
永源寺文書	一括	H14.12	永源寺	永源寺町
絹本著色方便法身尊号	1 幅	H15.1	圓超寺	栗東市辻
丸二二引両文鬼瓦	1 枚	H15.2	永正寺	栗東市上鉤
軍服ほか	一括	H15.3	個人	栗東市出庭
方便法身尊像	1 幅	H15.3	長徳寺	栗東市林
太田順造家文書	145 点	H15.3	個人	栗東市辻

複製資料

なし

修復資料

現状のままでは展示することの難しかった資料、劣化が進み作品の正しい姿を見ることができない状態にあった資料、セロテープなどにより汚染された資料など、収蔵資料の修復を進めることにより館蔵資料の充実化、展覧会での公開活用を図ることができた。及び写真撮影事業からは、二次資料の充実化、図録・ポスターへの活用をすることができた。

博物館運営上、展示収蔵資料の修復を進めていくことは、収蔵資料の充実化につながり、さらに資料の積極的な保存につながるため、継続した取り組みが必要である。

・国松桂溪『大河』 1点

油彩、麻布 1916年 法量 65.3 cm × 80.4 cm × 3.0 cm (修復後)

(修復前の状況)

ニスの被膜層が黄変し、一部にはブルーミングも生じていたほか、黴の残痕が全面に定着し、絵具層中の油分が抜けて画面全体に不鮮明であった。画布の弛みが大きく、裏面の木枠の形の通りに折れが出来、一部地塗り、絵具層に亀裂が生じていた。随所に小剥落が多数見られた。画布の経年劣化で小さな穴が多数出来ていた。木枠は木質が痩せて画布の緩みの原因となっていたほか、虫損があった。

(修復内容)

剥離危険箇所を固着し表打の後、画布を伸展して局所的な弛みや歪みを矯正。新しい麻布で裏打を施し画布を補強し、洗浄、剥落欠失箇所の補填を行い、木枠を新調して仕立。修復前の仕様を応用して木枠裏面には楔をとりつけ、画布の張力を調整できるようにした。補填箇所に補彩のうえ、保護膜として透明なニスを着せ、額を新調して額装とした。

(施工) あとり系 すぎうら

・辻村鑄物師中宛蔵人所牒 1巻

紙本墨書 享保12年(1727) 法量 縦29.0 cm × 横116.2 cm (修復後、本紙部分)

(修復前の状況)

本紙全体に巻き折れと虫損が著しく、裏打紙が浮いており、軸が本紙からはずれていた。4行目部分で本紙が切れ、6行目には裏打継目の段差により擦損が生じていた。前半部分に紙腐りが生じ脆弱化していた。

(修復内容)

本紙クリーニングののち、補紙、裏打し、卷子装に仕立てた。

(施工) 有限会社 坂田墨珠堂

・木造地藏菩薩半跏像 1軀(善勝寺蔵、寄託資料)

寄木造 彫眼 座高56.6 cm (修理後)

(修復前の状況)

本体は後補の漆箔に覆われ、本体、光背、持物(宝珠)各所について矧目の緩みが目立つ。台座は矧目のほぼすべてが離れ、本体の安置が不可能であった。

(修復内容)

本体肉身部の漆箔(後補部分)を除去して素地をあらわし、古色仕上げとした。矧寄部のうち脱落した部分は接合した。光背の矧目の弛み、宝珠の緩みなどは一端取り離し、清掃して接合した。台座の矧目についてもすべて取り離し、清掃ののち接合した。

(施工) 京都魁文化財修理所

・観音寺村地籍図 1鋪

紙本著色 53.7 cm × 77.5 cm

・井上村地籍図 1鋪

紙本著色 53.6 cm × 77.6 cm

・霊仙寺村地籍全図 1鋪

紙本著色 83.4 cm × 72.7 cm

紙本著色 82.3 cm × 77.5 cm

(修復前の状況)

虫損、糊離れなどの破損著しく、折りたたんで保存されていたため、とりわけ折れ目の部分での劣化がみられた。セロハンテープが貼られたもの、シミやインクのにじみがみられるものもあった。

(修復内容)

剥落止め、セロハンテープの除去等を含むクリーニングを行い、解体した。欠失箇所には補紙を行い、付箋の糊止めののち、全体を裏打ちした。修復後は折りたたまずに平置きで楮紙に挟んで保存とした。

(施工) 坂田墨珠堂

受贈図書

大部にわたるため、交換先、受贈先のお名前をもってかえさせていただきます。

- 北海道 財団法人アイヌ文化振興・研究振興機構 / 利尻町立博物館 / 釧路市立博物館 / 苫小牧市博物館
- 青森県 青森県環境生活文化・スポーツ振興課県史編纂室 / 青森県立郷土館 / みちのく北方漁船博物館
- 岩手県 岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館 / 仙台市博物館 / 仙台市歴史民俗資料館 / 一関市博物館 / 大船渡市立博物館 / 北上市立鬼の館
- 秋田県 秋田県立博物館
- 山形県 米沢市教育委員会 / 米沢市上杉博物館 / 東北大学文学部 美学・美術史研究室
- 福島県 福島県立博物館 / 福島県郡山市教育委員会
- 茨城県 日立市郷土博物館 / 土浦市立博物館 / 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 / 石岡市教育委員会 / 玉里村教育委員会 / 玉里村立史料館 / 曙光山月山寺
- 栃木県 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館 / 栃木県立なす風土記の丘資料館 / 佐野市郷土博物館 / 足利市教育委員会 文化課 / ミュージアム氏家
- 群馬県 群馬県立歴史博物館 / 館林市教育委員会文化振興課 / 戸田市立郷土博物館
- 千葉県 国立歴史民俗博物館 / 千葉県立安房博物館 / 千葉県立加普利貝塚博物館 / 千葉県立房総のむら / 鎌ヶ谷市郷土資料館 / 松戸市立博物館 / 船橋市郷土資料館 / 館山市立博物館 / 野田市郷土博物館 / 市立市川考古博物館 / 我孫子市史編集委員会 / 伊能忠敬記念館
- 埼玉県 埼玉県立博物館 / 埼玉県立さきたま資料館 / さいたま川の博物館 / 彩湖自然学習センター / さいたま市立博物館 / 富士見市教育委員会 / 富士見市立資料館 / 富士見市立水子貝塚資料館 / 富士見市立難波田城資料館
- 東京都 財団法人東京都歴史文化財団・東京都江戸東京博物館 / 東京都写真美術館 / 文化環境研究所 / 文化庁文化財部美術学芸課 / 平和祈念事業特別基金 / 社団法人日本ユネスコ協会連盟 / 財団法人国際佛教興隆協会 / 財団法人家具の博物館 / 石橋財団ブリヂストン美術館 / 高幡山金剛寺 / 世田谷区立郷土資料館 / 世田谷区生涯学習課民家園係 / 大田区立郷土博物館 / 中野区立歴史民俗資料館 / 品川区立品川歴史館 / 豊島区立郷土資料館 / 板橋区立郷土資料館 / 府中市郷土の森博物館 / 町田市立博物館 / 調布市教育委員会・調布市遺跡調査会 / 調布市郷土博物館 / 福生市教育委員会 / 福生市郷土資料室 / 東京家政大学博物館 / 早稲田大学史学会 / 早稲田大学大学院 / 東京家政学院生活文化博物館 / 東京農業大学農業資料室 / 國學院大學考古学資料館 / 國學院大學博物館学研究室 / お茶の水女子大学 / お茶の水女子大学学芸員課程 / 成城大学民俗学研究所 / 内藤佐登子
- 神奈川県 神奈川県立金沢文庫 / 財団法人馬事文化財団 / 横浜市歴史博物館 / 川崎市市民ミュージア

- △ / 小田原市郷土文化館 / 秦野市立桜土手古墳展示館 / 藤沢市教育委員会 / 藤沢市史編さん委員会 / 平塚市博物館
- 新潟県 柏崎市立博物館 / 長岡市立科学博物館 / 互尊文庫 / 十日町市教育委員会 / 十日町市博物館
- 長野県 松本市立博物館 / 上田市立博物館 / 飯田市美術博物館
- 富山県 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 / 立山博物館 / 富山市郷土博物館 / 高岡市立博物館
- 石川県 石川県立博物館 / 石川県立歴史博物館 / 小松市立博物館 / 七尾市教育委員会
- 福井県 福井県立博物館 / 福井県立若狭歴史民俗資料館 / 高浜町教育委員会
- 静岡県 静岡市立登呂博物館 / 浜松市博物館 / 浜松市立中央図書館 / 焼津市歴史民俗資料館 / 豊田町教育委員会
- 愛知県 名古屋市博物館 / 熱田神宮宝物館 / 徳川美術館 / 安城市教育委員会 / 安城市歴史博物館 / 一宮市博物館 / 知立市歴史民俗博物館 / 半田市立博物館 / 豊橋市二川宿本陣資料館 / 碧南市教育委員会 / 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター / 瀬戸市歴史民俗資料館 / 名古屋大学大学院文学研究科美学美術史研究室
- 岐阜県 岐阜県博物館 / 岐阜市歴史博物館 / 飛騨・世界生活文化センター / 各務原市歴史民俗資料館 / 内藤記念くすり博物館
- 三重県 斎宮歴史博物館 / 津市埋蔵文化財センター / 亀山市教育委員会 / 亀山市歴史博物館 / 桑名市博物館 / 四日市市教育委員会文化課 / 四日市市立博物館 / 朝日町歴史博物館 / 式年遷宮記念 神宮美術館 / 皇学館大学神道博物館
- 滋賀県 滋賀県教育委員会 / 財団法人滋賀県文化財保護協会 / 滋賀県埋蔵文化財センター / 滋賀県文化振興事業団 / 滋賀県立琵琶湖博物館 / 滋賀県立図書館 / 滋賀県立安土城考古博物館 / 滋賀県安土城郭調査研究所 / 滋賀県立近代美術館 / 滋賀県立琵琶湖文化館 / 滋賀県立陶芸の森 / 大津市歴史博物館 / 草津市教育委員会 / 草津宿街道交流館 / 守山市教育委員会 / 守山市埋蔵文化財センター / 銅鐸博物館(野洲町立歴史民俗資料館) / 甲西町役場企画課 / 甲西エコミュージアム研究会事務局 / 甲西町教育委員会 / 日野町教育委員会 / 能登川町教育委員会 / 八日市市教育委員会 / 長浜市教育委員会 / 長浜城歴史博物館 / 山東町教育委員会 / 山東町立柏原宿歴史館 / 志賀町教育委員会 / 彦根市市史編さん室 / 彦根城博物館 / 新旭町教育委員会 / 土山町立歴史民俗資料館 / 新旭町教育委員会 / 近江八幡市立資料館 / 伊吹山文化資料館 / 永源寺町役場 / MIHO MUSEUM / 財団法人佐川美術館 / 近江商人郷土館 / 滋賀県坂田郡社会教育研究会文化財部会 / 財団法人膳所焼美術館 / 特別展『長浜・大通寺の精華』実行委員会 / 愛知川沿岸土地改良区 / 西田耕之助 / 滋賀大学経済学部附属資料館 / 滋賀県立大学 / 成安造形大学 / 楽浪文化財修理所 / 芳洲会 / 近江歴史回廊倶楽部 / 渋川花踊り保存会 / 総本山 園城寺 / 宗教法人浄西寺 / 兵主大社
- 和歌山県 和歌山県立博物館
- 奈良県 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所 / 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所飛鳥資料館 / 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 / 奈良県立民俗博物館 / 奈良市教育委員会 / 広陵町史編集委員会 / 新庄町教育委員会 / 新庄町歴史民俗博物館 / 香芝市二上山博物館 / 大和文華館 / 財団法人元興寺文化財研究所 / 元興寺境内遺跡調査会 / 奈良大学文学部文化財学科 / 帝塚山大学大学院人文科学研究科
- 京都府 京都国立博物館 / 京都文化博物館 / 京都府立総合資料館 / 京都府立山城郷土資料館 / 京都府立丹後郷土資料館 / 京都府ふるさと文化再興事業推進実行委員会 / 京都市歴史資料館 / 向日市文化資料館 / 長岡京市教育委員会 / 宇治市歴史資料館 / 大山崎町歴史資料館 / 亀岡市文化資料館 / 日吉町郷土資料館 / 園部文化博物館 / 岩滝町 / 舞鶴市立赤れんが博物館 / 八幡市教育委員会 / 八幡市立松花堂美術館 / 財団法人京都府埋蔵文化財研究所 / 財団法人高麗美術館研究所 / 財団法人イケマン人形文化保存財団 / 大西清右衛門美術館 / 東寺 教王

- 護国寺 宝物館 / 知恩院浄土宗学研究所 / 本願寺史料研究所 / 黄檗山萬福寺文華殿 / 黄檗文化研究所 / 京都造形芸術大学 / 京都美学美術史学研究会 / 京都市立芸術大学 日伊世界遺産研究会 / 京都市立芸術大学芸術資料館 / 華頂短期大学博物館学芸員課程 / 同志社大学歴史資料館 / 同志社大学博物館学芸員課程 / 立命館大学 文学部 / 立命館大学国際平和ミュージアム / 佛教大学鷹陵史学会 / 佛教大学図書館 / 大谷大学博物館課程委員会 / 花園大学史学会 / 財団法人 霊山顕彰会 / 近江 佐々木氏の会 / 鑄造遺跡研究会 / 株式会社 京都科学
- 大阪府 国立民族学博物館 / 大阪府立弥生文化博物館 / 大阪府立近つ飛鳥博物館 / 大阪歴史博物館 / 大阪城天守閣 / 大阪市立住まいのミュージアム / 大阪市立美術館 / 堺市博物館 / 岸和田市立郷土資料館 / 吹田市立博物館 / 大阪狭山市教育委員会 / 大阪狭山市史編さん委員会 / 大阪狭山市立郷土資料館 / 池田市立歴史民俗資料館 / 東大阪市立郷土博物館 / 藤井寺市教育委員会 / 八尾市立歴史民俗資料館 / 枚方市教育委員会 / 財団法人枚方市文化財研究調査会 / 日本民家集落博物館 / 泉佐野市教育委員会 / 歴史館いずみさの / 貝塚市教育委員会 / 国史跡・重要文化財鴻池新田会所 / 関西大学博物館 / 追手門学院大学博物館研究室 / 大阪青山歴史文学博物館 / 大阪商業大学商業史博物館 / 大阪商業大学比較地域研究所 / 大阪樟蔭女子大学 (学芸学部) / 大谷女子大学博物館
- 兵庫県 兵庫県立歴史博物館 / 兵庫県立美術館 / 神戸市立博物館 / 芦屋市谷崎潤一郎記念館 / 伊丹市立博物館 / 尼崎市教育委員会 / 西宮市教育委員会 / 西宮市立郷土資料館 / 宝塚市教育委員会 / 明石市教育委員会 / 明石市立文化博物館 / 加古川総合文化センター / 姫路市書写の里・美術工芸館 / 姫路市立城郭研究室 / 姫路市立美術館 / 小野市教育委員会 / 小野市立好古館 / 中町教育委員会 / 播磨町郷土資料館 / 福崎町教育委員会 / 財団法人白鹿記念酒造博物館・大手前大学史学研究所 / 財団法人竹中大工道具館 / 神戸大学美術史研究会
- 岡山県 岡山県立博物館 / 岡山県立美術館 / 岡山市立オリエント美術館
- 鳥取県 鳥根県立八雲立つ風土記の丘 / 気高町教育委員会
- 広島県 広島県立歴史博物館 / 広島県立歴史民俗資料館 / 財団法人広島県埋蔵文化財調査センター / 日本郷土玩具博物館
- 山口県 山口県立美術館 / 下関市立考古博物館 / 徳山市美術博物館
- 香川県 香川県歴史博物館
- 高知県 高知県立歴史民俗資料館
- 愛媛県 愛媛県歴史文化博物館 / 松山市教育委員会 / 松山市考古館
- 福岡県 福岡市教育委員会 / 岡垣町教育委員会
- 佐賀県 佐賀県立博物館・佐賀県立美術館
- 大分県 大分県立歴史博物館 / 大分市立博物館
- 熊本県 八代市立博物館未来の森ミュージアム
- 鹿児島県 ミュージアム知覧

(2) 資料の保管

() 収蔵環境管理

博物館施設、設備の良好な維持管理を図ることにより、展示・収蔵している博物館資料を保存し、後世に伝えていく博物館の基本的な役割を果たすための業務を実施した。

収蔵環境管理にかかる定期管理として次のような項目を実施した。

日常管理：展示室、機械室等の巡回点検、監視記録、報告。館内清掃（委託）、中島家管理（委託）

月次管理：自記式温湿度計の記録紙交換。収蔵庫、展示室ケース内を含む館内巡回監視
 季節管理：空調機の夏冬設定切り替え（春秋）中央監視盤スケジュール設定変更（年頭）
 資料受け入れや収蔵にかかる管理：掃除と点検を行い、必要に応じて燻蒸等の処置を行う

() 生物被害対策

館設備へのメンテナンスや博物館資料にたいするくん蒸を行うことにより、収蔵品や展示物を適切な環境下におき、安全に保管していくことができた。

収蔵庫くん蒸 1回 (7月22日～26日)
 くん蒸庫くん蒸 2回 (5月9日～11日、9月25日～27日)

(3) 資料の活用

資料貸出

資料名	員数	年月日	貸出目的	貸出先
愛知川ダム関係写真アルバム	4冊	H14.6～8	愛知川土地改良区設立50周年記念写真集編集	愛知川土地改良区
戦争関係写真パネル	21点	H14.7～8	平成14年戦争パネル展	水口町立碧水ホール
平和関係資料	22点	H14.7	第6回平和の集い	しが健康医療生協こびらい生協診療所
教科書「算数の学習」ほか	5冊	H14.9	自主活動学級活動	栗東市立十里会館
永源寺蔵永源寺文書のうち康安2年9月2日付六角崇永寺領寄進状ほか	5点	H14.9～11	秋季特別展「近江源氏と沙々貴神社 - 近江守護佐々木一族の系譜 - 」	滋賀県立安土城考古博物館
日光例弊使行列図	1巻	H14.10～11	秋期企画展「近江中山道」	野洲町立歴史民俗資料館（銅鐸博物館）
羅馬字示教図ほか	4幅	H14.10～11	企画展「大津の小学校 - 130年のあゆみ」	大津市歴史博物館
神宮寺蔵春日曼荼羅図	1幅	H14.10～11	特別展「動物の造形」	滋賀県立琵琶湖文化館
個人蔵フジ織りのコンナシ	1点	H14.10～12	秋季企画展「山に暮らす」	土山町立歴史資料館
ソマノコ・ヨキ・ゾリ・クサビ・ハツパミノ・ゲンノウ	11点	"	"	"
西田恵泉スケッチ等	5点	H14.10	縷文化祭	縷自治会館
軍隊手帳	2点	"	"	"
縷村旧領絵図	1点	"	"	"
ハメヒキ	1点	"	"	"
チョンナ	1点	"	"	"
戦争関係写真パネル	30点	H14.12	戦争体験学習の実施	葉山東小学校
新開4号墳出土船形埴輪	1基	H14.1～3	特別展「湖北の王たち - 神功皇后から継体天皇へ - 」	市立長浜城歴史博物館
上砥山山の神資料	1式	H14.12～H15.3	ギャラリー展示「森づくりに - 琵琶湖をはぐくむ森と人 - 」	滋賀県立琵琶湖博物館
山の神解説ビデオ	3本	"	"	"
山の神写真パネル	6枚	"	"	"

山の神写真	9 枚	"	"	"
下鈎遺跡出土翡翠製勾玉・碧玉製管玉・銅釧写真	1 点	H15.1~2	特別企画展「ヒスイに魅せられて～縄文から弥生へ～」	徳島市立考古資料館
岡遺跡模型	1 点	H15.4~6	企画展「古代を考える 郡の役所と寺院」	川崎市市民ミュージアム

特別利用（閲覧・撮影・原版使用等）

資料名	年月	利用目的	利用者
園城寺蔵木造彩色山岡道阿弥坐像・紙本著色 山岡景以像写真	2 点	H14.4 刊行誌「三井寺」に掲載のため	園城寺
国松桂溪関係アルバム	2 冊	H14.4 展覧会準備のため	大手前大学 大手前アートセンター
綾東側の風景写真	2 枚	H14.5 自治連だより原稿	綾自治会
愛知川ダム関係写真アルバム	4 冊	H14.5 改良区設立 50 周年記念冊子作成のため	愛知川沿岸土地改良区
新開 4 号墳出土船形埴輪写真	1 点	H14.5 『僕と歩こう全国 50 遺跡考古学の旅』に掲載のため	株式会社大巧社
天の川蛍保勝会ポスター	1 点	H14.6 蛍保護と環境保全のため 蛍まつりについて小学児童に説明のため	元蛍を守る会
浄厳院蔵織田信長像写真	2 点	H14.6 平成 14 年 7 月 24 日放送「その時歴史が動いた/本能寺の変隠されたシナリオ」制作のため	日本放送協会
大字蜂屋地籍図	1 点	H14.6 都市開発に関する敷地の地域性調査のため	三菱重工業（株）
広報りっとう「一枚の写真」・広報りっとう平成 11 年度版・12 年度版	2 点	H14.7 ホームページに掲載のため	（株）ヤマブラ
東方山安養寺蔵興正菩薩像写真	1 点	H14.7 真言律宗総本山山西大寺編『興正菩薩肖像御影集成』への掲載のため	真言律宗総本山山西大寺
手原村地図全図ほか写真	9 点	H14.7 卒業研究・栗東新駅周辺アイデア構想コンペ参加のため	個人
源平布引滝絵看板（里内文庫）写真	2 点	H14.7 『湖国と文化』掲載のため	個人
浄厳院蔵織田信長像写真	1 点	H14.7 『日本の中世』第 11 巻のカラー図版で使用	中央公論新社
中島家展示資料・館内資料（蓄音器など）	一括	H14.8 社会科副読本に掲載するため	大津市教育研究所
地籍図資料		H14.9 栗太郡の農村集落に関する研究	個人
狐塚 2 号墳及び新開 4 号墳出土円筒埴輪		H14.9 論文執筆のため	個人
北大萱観音堂蔵木造聖観音像・善水寺蔵木造帝釈天立像	2 軀	H14.9 近江仏取材研究のため	個人
近代化・山ノ神・農耕 ビデオ	1 本	H14.10 総合学習に利用	葉山中学校
野尻村屋敷図ほか		H14.11 修士論文作成のため	個人
昭和 38 名神開通式ほか写真	3 点	H14.11 滋賀県の 50 年の歴史を振り返る連載記事掲載のため	読売新聞
企画展「近江の鋳物師」展示風景		H14.11 辻村の歴史を学び、鋳物師の記録をとどめるため	辻自治会長

木造毘沙門天立像（善勝寺）写真		H15.2	彫刻資料	個人
犁		H14.11	在来牛耕関係農具の比較研究	個人
旧中島家住宅移築復原図面	一括	H14.12	滋賀県立大学・京都大学共同民家研究のため	個人
狛坂磨崖仏写真	1点	H14.12	『再現日本史』第97号へ写真掲載のため	株式会社講談社
木内石亭肖像写真	1点	H14.12	『再現日本史』第88号へ写真掲載のため	株式会社講談社
新開4号墳出土船形埴輪写真	1点	H14.12	特別展「湖北の王たち」図録写真掲載のため	市立長浜城歴史博物館
天部立像・金勝寺絵図ほか		H15.1	TV番組「名刹の旅」制作のため	テレトピア
六地藏軒別絵図写真	1点	H15.2	和中散の史的研究	個人
素弁八葉蓮華紋軒丸瓦・複弁八葉蓮華紋軒丸瓦図版		H15.3	明石書店刊行『滋賀の朝鮮』に掲載のため	株式会社 明石書店
栗太郡第七区志那村地籍総図（里内文庫）写真		H15.3	平成12年開催のシンポジウム基調報告書への資料掲載	サンライズ印刷株式会社
『東海道中山道甲州街道図屏風』写真	1点	H14.8	『一色まちづくりほっとプラン』に掲載のため	米原町教育委員会
国道1号線高野交差点（S40）・国道8号線舗装工事完成（S32）写真	2点	H15.3	テレビ神奈川特別番組「ワトキンスの見た日本」で紹介するため	株式会社ビデオコミュニケーションズ

（４）調査研究

収集した歴史資料、平和関連資料など博物館資料の調査、整理、及び展覧会にかかる資料調査を実施した。蓄積された各種博物館資料の再整理を図り、館蔵資料の利活用の便を高めるとともに、企画展や小地域展開催に向けての調査を進めることができ、地域資料の掘り起こし、受託・受贈資料の増加につなげることができた。博物館資料の調査、研究、整理を行うには、高度な専門的知識と技術が必要であり、優秀な人材の継続した確保が必須となっている。

各展覧会にともなう調査研究は、図録、パンフレットのほか、博物館だよりにおける資料紹介、紀要の刊行などの成果に結びついた。また『栗東歴史民俗博物館紀要』第9号（平成15年3月発行）では、企画展「近江の鋳物師」にともなう資料調査の中から見出された文書等について翻刻と解題を行い、調査成果の報告とした。

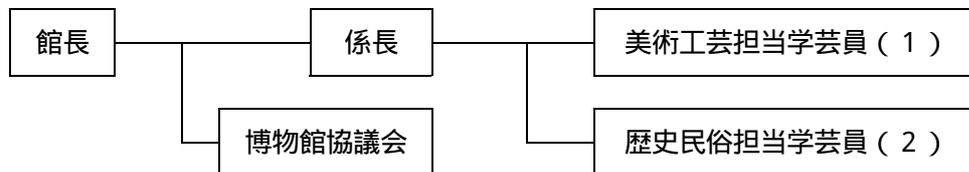
企画展示等と切り離された資料整理・調査事業として里内文庫資料調査事業を実施した。

・里内文庫資料調査事業

平成12年度から継続して、簿冊単位での目録完備にむけた調査事業を実施している。本年は14,810件の調査・整理、12,666件のデータ入力が行われ、里内文庫資料の有効活用を図るための整理作業を確実に進展させることができた。資料数については、当初15,000件の資料数を見込んだが、調査の過程で約20,000件に上ることが判明した。本事業については、当初は3ヵ年での実施を予定していたが、点数が当初見込みより増加したことにより、事業年度を1年間延ばさざるを得なくなった。

5 組織と管理運営

(1) 組織



(2) 職員

名誉館長	宇野 茂樹
館長	佐々木 進
係長	井上 明
学芸員	松岡久美子
学芸員	礪部 宏子
学芸員	大西 稔子
資料調査員(臨時)	山本順也
資料調査員(臨時)	奥村晃代
資料調査員(臨時)	水沼聖恵(4月1日~7月24日)
資料調査員(臨時)	池田桃子(10月1日~3月31日)
臨時職員(受付・警備)	3人

(3) 職員の活動

佐々木進(館長)

[職務分掌]

総括

[展示担当]

通史展示：栗東の真宗文化

企画展示：収蔵品展 仏教美術を中心に、第1回マイ・ミュージアム展、企画展「近江の鋳物師 辻村鋳物師の活躍」、企画展「古墳時代の装飾品 玉の美」

[執筆]

歴史民俗博物館 149 収蔵品展「仏教美術を中心として」(『広報りっとう』 759) 平成 14 年 4 月

「栗東歴史民俗博物館だより」(『広報りっとう』 765) 分担執筆 平成 14 年 10 月

企画展「近江の鋳物師」図録分担執筆 平成 14 年 10 月

「栗東歴史民俗博物館だより」(『広報りっとう』 770) 分担執筆 平成 15 年 3 月

[館外活動]

京都女子大学非常勤講師(博物館実習)

京都大学非常勤講師(博物館学)

文化財買取評価員(文化庁) 平成 14 年 10 月

滋賀県美術工芸品実態調査調査員委嘱(滋賀県教育委員会)

平成 14 年 6 月 17 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日

井上明（係長）

〔職務分掌〕

庶務

〔執筆〕

年報平成 12・13 年度 分担執筆

平成 15 年 3 月

松岡久美子（学芸員）

〔職務分掌〕

学芸（美術工芸）

ホームページ管理運営

〔展示担当〕

通史展示：縄文の人々と暮らし、稲作のはじまり、栗東の古墳、古代の豪族と官衙遺跡、花開く宗教文化

企画展示：テーマ展「近江の彫刻 湖南・甲賀の 10・11 世紀」

〔執筆〕

テーマ展「近江の彫刻 湖南・甲賀の 10・11 世紀」図録

平成 14 年 9 月

歴史民俗博物館 152 テーマ展「近江の彫刻 湖南・甲賀の 10・11 世紀」(『広報りっとう』 765)

平成 14 年 10 月

「栗東歴史民俗博物館だより」(『広報りっとう』 765) 分担執筆

平成 14 年 10 月

「栗東歴史民俗博物館だより」(『広報りっとう』 770) 分担執筆

平成 15 年 3 月

年報平成 12・13 年度分担執筆

平成 15 年 3 月

〔館外活動〕

滋賀県美術工芸品実態調査調査員委嘱（滋賀県教育委員会）

平成 14 年 6 月 17 日～平成 15 年 3 月 31 日

平成 14 年保存担当学芸員研修参加

平成 14 年 7 月 9 日～19 日

京都大学大学院文学研究科 21 世紀 COE プログラム規範性と多元性の歴史的諸相研究会発表

平成 14 年 11 月

磯部宏子（学芸員）

〔職務分掌〕

学芸（歴史民俗）

博物館教室「昔の暮らし」の開催

〔展示担当〕

通史展示：街道の生活、木内石亭コーナー、コーナー展示「中山道と栗太」

〔執筆〕

『中山道ガイドブック』(近江中山道 400 年記念事業実行委員会) 分担執筆

平成 14 年 7 月

「栗東歴史民俗博物館だより」(『広報りっとう』 765) 分担執筆

平成 14 年 10 月

歴史民俗博物館 154 テーマ展「すこし昔の暮らしと人々」(広報『りっとう』 769)

平成 15 年 2 月

〔館外活動〕

長命寺文書調査調査員委嘱（滋賀県教育委員会）

平成 14 年 6 月 3 日～平成 15 年 3 月 31 日

木内石亭資料調査委嘱（草津市教育委員会）

平成 15 年 2 月 20 日～平成 15 年 3 月 31 日

葉山中学校 1 学年総合的学習講師

大西稔子（学芸員）

〔職務分掌〕

学芸（歴史民俗）

〔展示担当〕

企画展示：テーマ展「平和のいしずえ 2002」、テーマ展「下戸山の歴史と文化」

〔執筆〕

テーマ展「平和のいしずえ 2002」パンフレット執筆 平成 14 年 7 月

テーマ展「下戸山の歴史と文化」パンフレット執筆 平成 14 年 11 月

歴史民俗博物館 151 テーマ展「平和のいしずえ 2002」（『広報りっとう』 763） 平成 14 年 8 月

歴史民俗博物館 153 テーマ展「下戸山の歴史と文化」（『広報りっとう』 767） 平成 14 年 12 月

〔館外活動〕

滋賀県美術工芸品実態調査調査員委嘱（滋賀県教育委員会）

平成 14 年 6 月 17 日～平成 15 年 3 月 31 日

「草津のサンヤレ踊り」調査事業調査員委嘱（草津市教育委員会）

平成 14 年 4 月 23 日～15 年 3 月 31 日

「春日神社の石取祭総合調査」調査員委嘱（桑名市教育委員会）

「考古学資料の情報集成的研究～経塚データベース」関係資料集成調査協力（国立歴史民俗博物館）

平成 14 年 6 月 20 日～平成 15 年 3 月 31 日

ひよし歴史講座「園部藩とひよし」講師（日吉町郷土資料館）

8 月 25 日

第二回「下戸山を歴史と文化の探察」講師（下戸山自治会）

平成 15 年 2 月 22 日

山本順也（資料調査員）

〔職務分掌〕

資料調査（古文書の調査、解読、整理）

博物館教室「昔の暮らし」の実施

〔担当展覧会〕

通史展示：鉤の陣と中世、辻の鋳物師

企画展示：特別陳列「西川吉輔 地域の明治維新」、企画展「近江の鋳物師 辻村鋳物師の活躍」

〔執筆〕

特別陳列「西川吉輔」パンフレット執筆 平成 14 年 5 月

企画展「近江の鋳物師」図録分担執筆 平成 14 年 10 月

歴史民俗博物館 150 「西川吉輔～地域の明治維新」（『広報りっとう』 761） 平成 14 年 6 月

「栗東歴史民俗博物館だより」（『広報りっとう』 765）分担執筆 平成 14 年 10 月

「辻村鋳物師関係資料翻刻」（『栗東歴史民俗博物館紀要』第 9 号）執筆 平成 15 年 3 月

奥村晃代（資料調査員）

〔職務分掌〕

資料調査（民俗資料の調査、整理）

博物館教室「昔の暮らし」の実施

〔担当展覧会〕

通史展示：栗東の山の神、水口祭りとツクリゾメ

〔館外活動〕

日野町ホイノボリ祭調査調査員（日野町教育委員会）

「草津のサンヤレ踊り」調査事業調査補助員(草津市教育委員会)

平成 14 年 4 月 23 日～15 年 3 月 31 日

水沼聖恵(資料調査員)(4月1日～7月24日)

[職務分掌]

資料整理、受贈図書受入

池田桃子(資料調査員)(10月1日～3月31日)

[職務分掌]

資料整理、受贈図書受入

(4) 博物館協議会

() 委員

森谷 尅久	(武庫川女子大学教授)
石丸 正運	(滋賀県立琵琶湖文化館館長)
芳井 敬郎	(花園大学教授)
大橋 信弥	(滋賀県立安土城考古博物館学芸課長)
國松清太郎	(栗東市議会議員)
新道 信彦	(栗東西中学校長)
澤 絢子	(栗東市社会教育委員)
山内 君代	(画家)
西口 順子	(相愛大学教授)
山本喜三雄	(栗東市文化協会副会長)

() 協議事項

第 25 回 平成 14 年 10 月 31 日(木) 午後 2 時から

- 協議事項 (1) 平成 14 年度博物館事業(上半期)報告について
(2) 平成 14 年度博物館事業(下半期)について
(3) 平成 15 年度博物館事業について

第 26 回 平成 15 年 2 月 28 日(金) 午後 2 時から

- 協議事項 (1) 平成 14 年度博物館事業(下半期)報告について
(2) 平成 15 年度博物館運営重点目標について
(3) 平成 15 年度博物館開催事業及び予算について

(5) 決算

(単位 : 千円)

歳入		1,445
入館料及び図録等頒布代・施設使用料		1,445
歳出		97,083
人件費		34,539
資料調査事業		9,872
賃金	資料調査員等賃金	6,389
需用費		
	消耗品費	359
	印刷製本費	624
委託料	里内文庫調査費	2,500
博物館資料等製作・修復事業		2,045
委託料	資料修復委託等	2,045
企画展等開催事業		9,291
報償費	資料提供謝礼等	559
需用費	消耗品費	355
	印刷製本費	4,239
役務費		
	通信運搬費	2,676
	広告料	536
	展示一貫保険	135
委託料		
	展示造作委託	792
博物館管理運営経費		41,334
協議会委員報酬		75
賃金	受付臨時職員賃金	2,904
旅費		464
需用費		
	消耗品費	1,569
	食料費	2
	印刷製本費	448
	光熱水費	16,226
	修繕費	742
役務費	通信運搬費	647
委託料		
	清掃、警備、空調機等保守点検委託	17,474
使用料及び貸借料		620
備品購入費	図書等	76
負担金、補助及び交付金		88

(6) 入館者数

・前年度までの推移

年度	一般	高大生	小中生	合計	有料入館者	研修室等	旧中島家	人数/日	開館日数
2年度	7,480	195	2,110	9,785	1,746	584		63.95	153
3年度	12,346	472	4,683	17,501	2,634	3,620		58.73	298
4年度	12,620	718	5,420	18,758	3,845	3,422		66.05	284
5年度	13,266	870	5,166	19,302	3,984	5,435		67.02	288
6年度	12,404	635	4,489	17,528	3,481	6,990	11,902	60.86	288
7年度	13,248	902	4,454	18,604	3,354	6,247	9,168	63.71	292
8年度	11,559	468	3,168	15,195	3,738	7,063	7,547	53.5	284
9年度	13,052	432	3,658	17,142	3,400	3,702	7,949	59.11	290
10年度	11,595	332	3,597	15,524	2,339	6,877	7,676	54.86	283
11年度	11,976	359	3,673	16,008	3,117	6,090	8,129	56.36	284
12年度	12,082	417	3,651	16,150	3,033	5,876	8,643	56.27	287
13年度	9,029	442	3,825	13,296	2,403	467	8,979	47.15	282

・平成14年度の月別入館者数

年度/月	一般	高・大生	小・中生	合計	有料入館者	研修室等	旧中島家	人数/日	開館日数
14/ 4	454	249	51	754	111	105	618	30.16	25
/ 5	511	0	54	565	181	99	532	20.93	27
/ 6	552	11	50	613	238	83	571	23.58	26
/ 7	526	6	106	638	126	189	462	24.54	26
/ 8	701	75	166	942	244	157	561	34.89	27
/ 9	743	18	46	807	392	48	554	42.47	19
/10	630	8	74	712	227	35	495	30.96	23
/11	624	2	154	780	103	47	440	35.45	22
/12	701	3	269	973	67	20	407	42.30	23
/ 1	697	5	354	1,056	135	18	619	45.91	23
/ 2	1,086	5	183	1,274	121	132	503	55.39	23
/ 3	1,589	8	595	2,192	354	1,437	882	84.31	26
14年度計	8,814	390	2,102	11,306	2,299	2,370	6,644	38.99	290

年報 平成14年度

編集 栗東歴史民俗博物館

〒520-3016 滋賀県栗東市小野 223-8

電話 077-554-2733 FAX077-554-2755

<http://www2.city.ritto.shiga.jp/hakubutsukan/>